

公益社団法人日本技術士会 CPD行事 報告書

開始日時	2025年9月13日 (土)	13時00分
終了日時	2025年9月13日 (土)	17時00分
名称	第151回CPD防災講演会	
主催者	公益社団法人日本技術士会千葉県支部 共催：千葉県弁護士会 後援 千葉市 千葉県災害復興支援士業ネットワーク	
開催場所	千葉県弁護士会館3階講堂及びZOOMによるリモート講演	
行事内容	1. 主催者挨拶：今住則之氏（日本技術士会千葉県支部副支部長） 2. 講演 テーマ「～あらためて確認しておこう～来るべき千葉県を襲う自然災害！」 2-1）千葉県の地震被害想定から考える県内の弱点と今後の防災対応について 講師 丸山喜久氏 千葉大学教授 2-2）火山被害想定から考える県内の弱点と今後の防災対応について 講師 高橋正樹氏 日本大学文理学部自然科学研究所上席研究員 2-3）土業の役割とネットワークの重要性（ワークショップ） 講師 加納基成氏 千葉南部災害支援センター代表	
参加人数	日本技術士会（会場27名+Zoom25名） 弁護士会（会場11名+Zoom16名）合計79人	

2-1）「千葉県の地震被害想定から考える県内の弱点と今後の防災対応について」



1）我が国の自然災害の概要

- ・発生状況、兵庫県南部地震や能登半島地震の特徴
- ・津波、火災、斜面崩壊、液状化、道路・建物被害

2）千葉県の地震被害想定

- ・想定地震、地震動の予測結果、津波の予測結果
- ・千葉県北西部直下地震、房総半島当方沖地震の被害予想結果

3）県内の弱点と今後の防災対策について

- ・電力施設の被害、停電の発生状況、断水状況等

2-2) 「火山被害想定から考える県内の弱点と今後の防災対応について」



- 1) 千葉県とは地球科学的にどのような場所か
- 2) 千葉県に災害をもたらす可能性のある火山はあるか
- 3) 富士山噴火と千葉県の火山被害
- 4) 降下火山灰災害としてどのような被害が想定され、どのように備えればよいか

2-3) 「土業の役割とネットワークの重要性について（ワークショップ）」



- 1) 主旨説明のあと、参加者を6グループに分け次のようなテーマについてワークショップを行った。
 - ・災害ボランティアセンターは、誰が設置するのか
 - ・罹災証明の認定はだれに相談するのか
 - ・倒木、土砂崩れ等は誰に相談するのか
 - ・土砂崩れが発生し、避難すべきか相談されたがどのように対応するか
 - ・避難所で問題が発生した、どのように対応するか

3. その他

講演会終了後、参加者23名による懇親会が実施され、他の土業関係者との交流がはかられた。